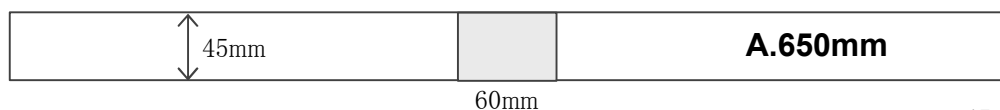
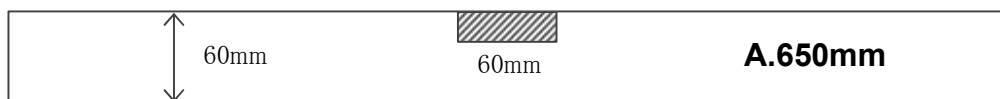


テーブルの脚（以下を2セット）

材料
赤松 45mmx60mm 角材
コースレッド 55mm 16本～
木工用ボンド

道具
スライド丸鋸
ドライバー
やすり
面取りビット

塗装
水性ステイン(白)
ブライワックス(ハニー)

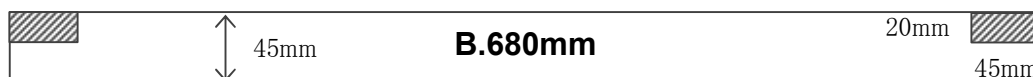
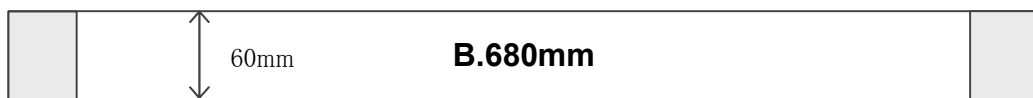


上面図

2本

天板を支える部材
床に接する部材
60mm x 20mm x 45mm をスライド丸鋸でカット

側面図



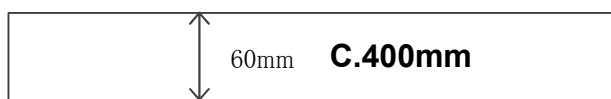
上面図

3本

天板を支える部材
床に接する部材
60mm x 20mm x 45mm をスライド丸鋸でカット

側面図

端から60mm空けて、、、



上面図

2本

天板を支える部材
床に接する部材

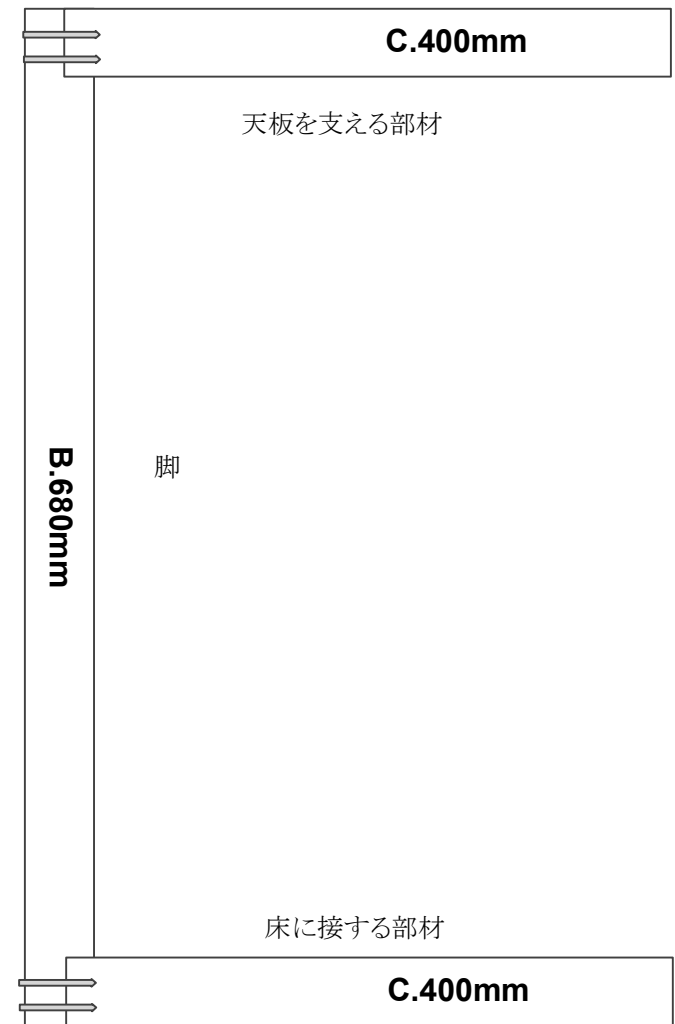
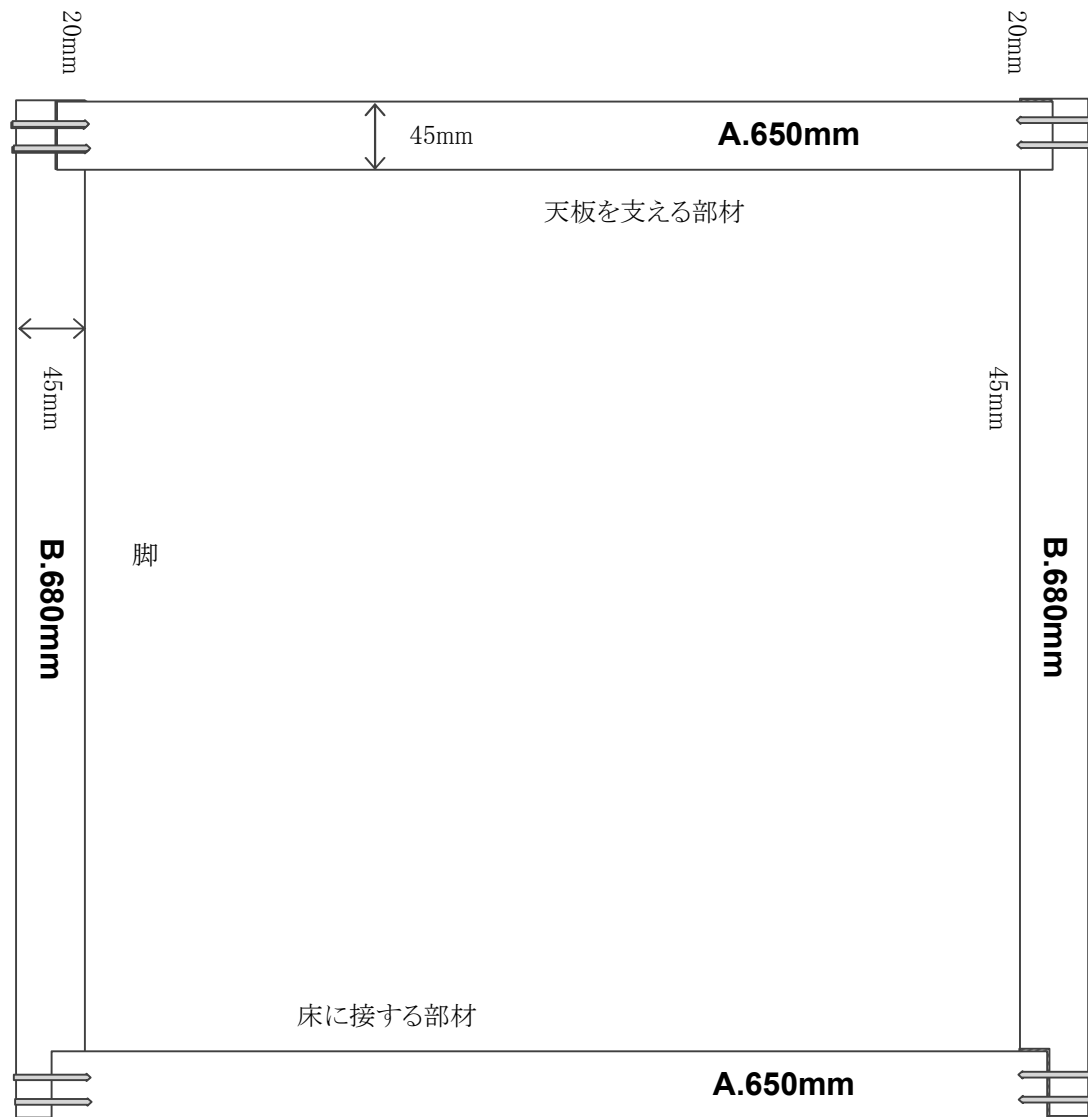
側面図

1. 部材のカット

赤松角材をカットし、スライド丸鋸で、組み口をカットしていく。

2. 仮やすり掛け

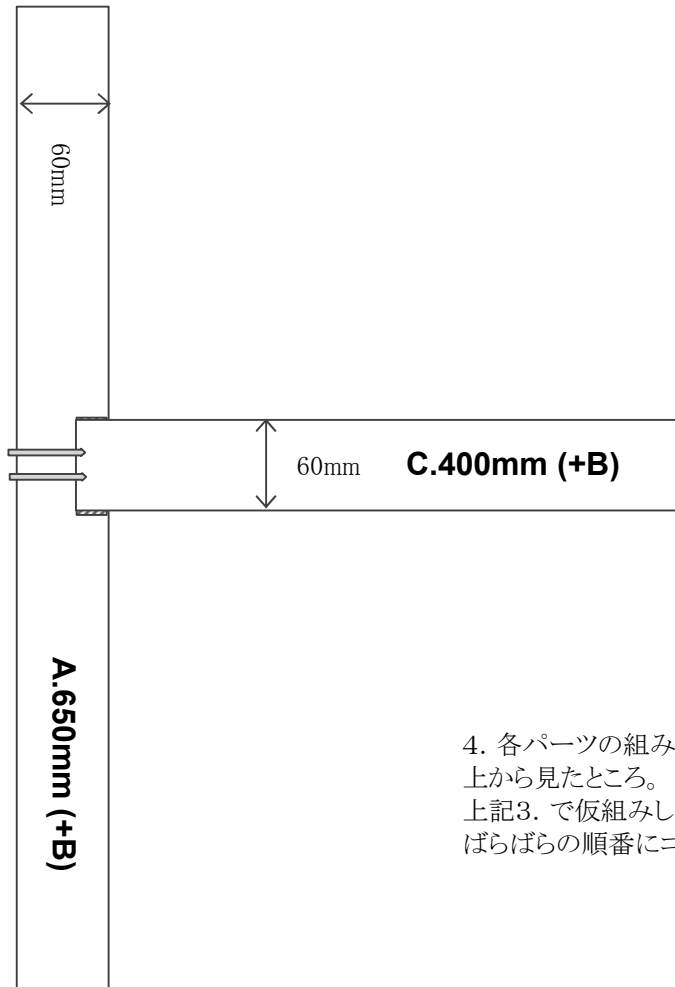
組んでからではやすり掛けしにくくなるので、この段階で、軽めにやすりをかけておく。



3. 脚パーツの仮組み

横から見たところ。

AとBを組み合わせ、BとCを組み合わせてコースレッドで仮組みしていく。



4. 各パーツの組み立てと、本組み
上から見たところ。

上記3. で仮組みしたパーツを組み立て。

ばらばらの順番にコースレッドを追加していき、グラグラしないように締めていく。木工用ボンドでしっかりと接着。

5. 仕上げ

やすりをかけなおし、塗装。

今回は、水性ステインで軽く着色してから、ブライワックスで仕上げ。

赤松材は水性ステインを吸収し難いので(ステインが浸透し難いので)、ペイントうすめ液でサッと表面を拭いてから、水性ステインで着色。

刷毛でサッと水性ステインを塗る。赤松材が吸収しなかったステインは(半乾きの状態のときに)サッとウエス(布切れ)でふき取り。軽くしか着色していなくてもよしとする。

しっかりと乾かしてから(冬なら1~2日)、ブライワックスで仕上げ。

天板をセット。